

STOP 9

保護者のみなさまへ

携帯電話の問題から子どもを守ろう運動

ケータイ・スマホを置いて、
有意義な時を過ごそう！



携帯電話・スマートフォンによる通信を

午後9時以降はしない

- 携帯電話等でインターネットを利用している青少年のうち、約4割が1日2時間以上利用しています。
- メールや通話，SNSなどに熱中し，深夜まで使用することで，学習時間や睡眠時間が減少しています。
- 使用時間が長いことで，学力に顕著な影響が出ています。

【携帯電話等に係る啓発活動推進会議】

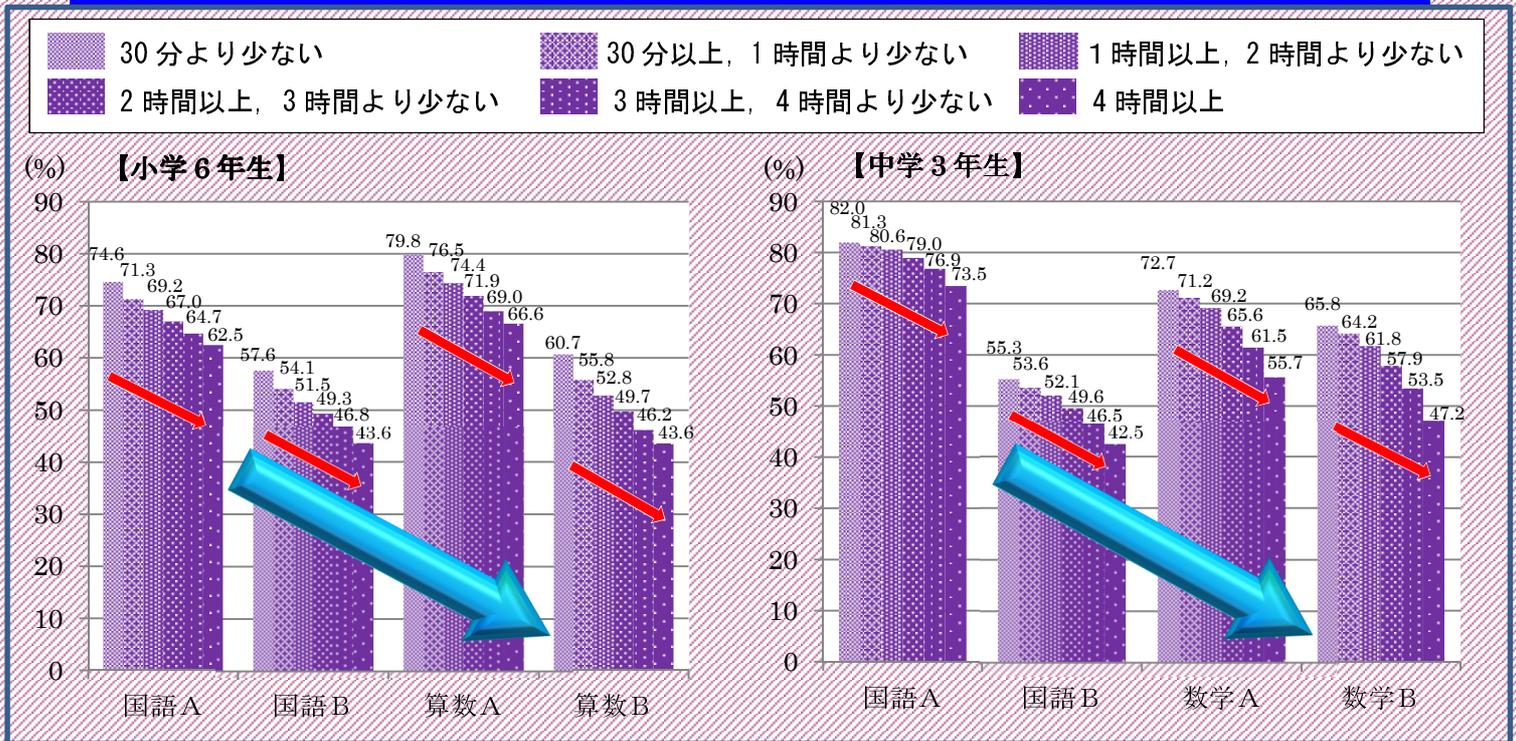
(構成メンバー) 広島県都市教育長会会長，広島県町教育長会会長，広島県連合小学校長会会長，広島県公立中学校長会会長，
広島県公立高等学校長協会会長，広島県PTA連合会会長，広島県高等学校PTA連合会会長，広島市PTA協議会会長
(事務局) 広島県教育委員会，広島市教育委員会

携帯電話・スマートフォンの使用時間と学力との関係性について

■ 携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをする時間が長い児童生徒の方が、全ての教科で

平均正答率が低くなっています。

携帯電話・スマートフォンの1日あたりの使用時間別の各教科の平均正答率



「平成26年度 全国学力・学習状況調査 調査結果のポイント」(文部科学省 国立教育政策研究所, 平成26年8月)より作成

携帯電話の問題から
子どもを守る運動

- 1 学校には、携帯電話の持ち込みをやめましょう
- 2 家庭では、保護者が子供の携帯電話に責任を持ちましょう
- 3 家庭では、わが家の「ケータイルール」を作りましょう
- 4 学校では、発達段階に応じた情報モラル教育を徹底しましょう